

# Cross-cultural adaptation, reliability and validity of the Japanese version of the Hospital for Special Surgery Hip Replacement Expectations Survey

薬師寺, 佳菜子

<https://doi.org/10.15017/4060018>

---

出版情報 : Kyushu University, 2019, 博士 (看護学), 課程博士

バージョン :

権利関係 : © 2019 The Japanese Orthopaedic Association. Published by Elsevier B.V. All rights reserved.

氏名	薬師寺 佳菜子			
論文名	Cross-cultural adaptation, reliability and validity of the Japanese version of the Hospital for Special Surgery Hip Replacement Expectations Survey (日本語版人工股関節手術期待調査票の異文化適応と信頼性・妥当性)			
論文調査委員	主査	九州大学	教授	鳩野 洋子
	副査	九州大学	教授	橋口 暢子
	副査	九州大学	教授	谷口 初美

### 論文審査の結果の要旨

本研究の目的は、人工股関節全置換術 (Total Hip Arthroplasty: THA) を受ける患者の術前の期待を評価するために開発された尺度である、人工股関節手術期待調査票 (Hospital for Special Surgery Hip Replacement Expectations Survey: HSS) の、日本語版 HSS の信頼性および妥当性を評価することである。患者の期待は、機能的な転帰や術後満足度を反映することが明らかとなっているため、これを術前に把握することは重要な意味を有している。

日本語版開発のために、THA を予定している成人患者に対し自記式質問紙調査が行われた。調査内容は、日本語版 HSS、Visual Analog Scale (VAS) による手術の期待と、Oxford hip score (OHS)、EuroQOL-5D (EQ-5D)、属性であり、また、初回調査より約 2 週間後に再テストが行われた。

患者 134 名に依頼し、116 名 (86.6%) が同意し、109 名 (81.3%) が再テストまで完了した。内部一貫性は Cronbach  $\alpha$  が 0.9 と良好で、再テストによる級内相関係数 (ICC) は 0.94、Bland-Altman 分析では系統誤差はなく高い信頼性を示した。日本語版 HSS と VAS による手術の期待との相関は  $r=0.67$ 、OHS との相関は  $r=0.37$ 、EQ-5D との相関は  $r=-0.2$  であり、全仮説のうち 77.8% が確認され構成概念妥当性は良好であった。以上のことから、日本語版 HSS は信頼性・妥当性が高く文化的に適合した、THA 患者の術前の期待を評価する信頼できる尺度であることが結論づけられた。

予備調査会では、主査、副査から種々の質問を行ったところ、概ね的確な回答が得られた。以上のことから調査委員の合議の結果、本論文は博士(看護学)の学位に値するものと認める。